

新知見!

浦上一番崩れゆかりの 「穴弘法奥之院」歴史散歩

静寂な寺院をめぐり
身近な地域の歴史を学ぶ



浦上地区一带を見渡せる高台で講師の説明を聞く参加者



▲講師の本馬貞夫先生

今回訪れた「穴弘法」
は正式には「高野山真言
宗穴弘法寺」、地元の方
からは「穴弘法さん」と

11月15日(木)に長崎学アドバイザーの本馬貞夫氏を講師に「新知見!浦上一番崩れゆかりの「穴弘法奥之院」歴史散歩を開催し、会員家族など18名が参加しました。

親しまれている古刹で、長崎四国八十八ヶ所霊場第二十一番札所にもなっています。長崎大学医学部の近くではありますが、長崎らしい入り組んだ山手にあるため、初めてお参りする人にとってはたどりがくまでは大変ですが、町の喧噪から離れた静かな空気を感じることが出来る場所です。



菜の花通信

Ⅱ家族向けニュース(ご家族の方にお渡しください)Ⅱ

Vol. 49

■発行■
長崎県保険医協会
菜の花会





▲穴弘法の入口



▲穴弘法寺奥の院霊泉寺 全景



▲御大師様が祀られている穴弘法内部



▲境内の各所に地蔵菩薩が祀られている

一行はまず、坂本小学校正門前に集合したあと、山手の階段を昇り、浦上地区一帯を展望できる見晴らしのよい所で本馬先生より、「現在の山

王神社のあたりに、真言宗延命寺（長崎市寺町）の末寺の「円福寺」があり、その境内に山王神社があつて神仏が習合していた。しかし、明治維新後の神仏分離令で山王神社となり、「円福寺」は

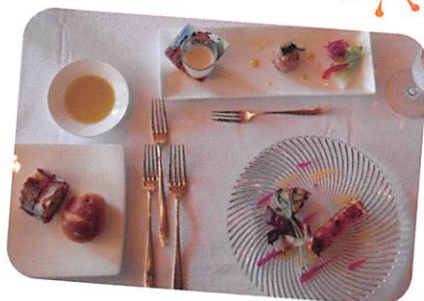
もうひとつのお寺として運営されるようになった」と、説明を受けました。

寛政2年（1790年）

の高谷永左衛門が穴弘法「奥之院」に八十八体の石仏を造立するので、寄付を申し出たところ、潜伏キリシタンである農民たちはこれを拒否。怒った高谷永左衛門は農民達を邪宗の疑いと長崎代官所に訴えでも、代官所は邪宗ではなく、無知な百姓の「異宗」信仰であるとし、高谷永左衛門は庄屋を辞職した。との一番崩れを紹介しました。さらに、本馬先生が『医王山延命寺開創四百年記念誌 いのち紡ぎて』（2017年）纂・執筆に参加する中で、この高谷永左衛門は、「高野山奥之院」に墓を建立するほどのお大師様信仰者であることが明らかに。参加者は唖然としました。



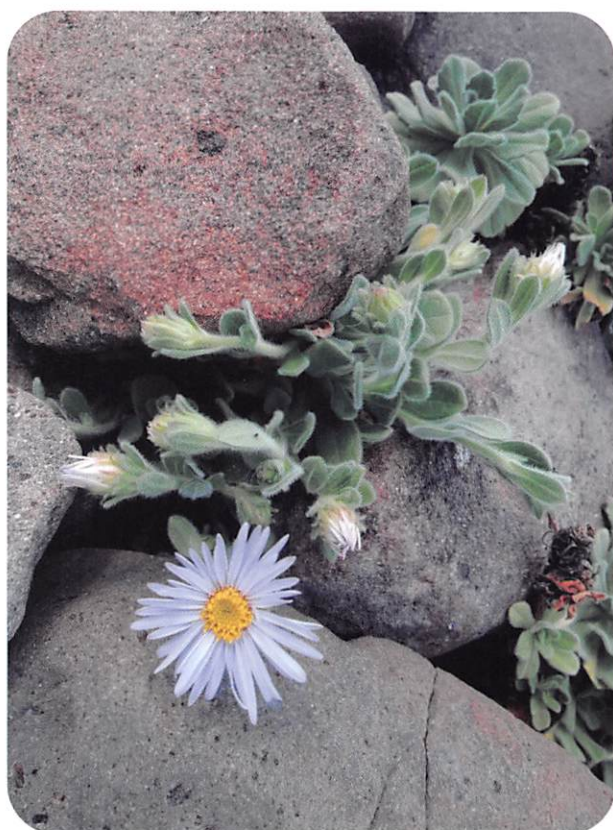
さらに「穴弘法奥之院」まで散策し、ここは原爆被災時には避難所としても使われ、この湧き水で多くの人が助かったこと、祈念式典の時には長崎市がお水を取りにくるなどの住職の説明のあと、思い思いに散策し、祠や小さなお地藏さんを手を合わせました。



昼食はガーデンテラス長崎ホテル&リゾートのレストラン「フォレスト」に移動して季節の料理を堪能し、参加者同士和やかに歓談しました。食事後は、本馬先生が今日尋ねた浦上地区の歴史について総括の講義をされ、最後まで歴史散策を楽しみました。

参加者からの感想

- 秋晴れの下、中腹からの天主堂を中心にした浦上一帯の眺めもすばらしく、ユーモアを交えながらも「浦上一番崩れ」の話には深く聞き入りました。今、浦上天主堂が建つ場所は当時庄屋の高谷家のやしき跡である。その昔「高野山奥の院」に墓を建立する程のお大師様信仰者だったと聞き、唖然とする思いでしたが、よくよく調べるとその間、小学校、派出所があった事がわかったそうです。その後、穴弘法奥の院では御住職からお話しもして頂き、原爆被災時には、ここの湧き水で多くの人が助かった事など現在にいたるまでの様子もよくわかりました。「小さい小さいほこら」でみなさん手を合わせました。昼食も美味しく進行も心配りされ充実した一日でした。
- 晴天に恵まれ、とても穴弘法奥の院の歴史散歩と昼食会でした。長崎の歴史の中で「浦上切支丹史」は特別な歴史である事は大体理解してたが、本馬先生の講話を聞いてより深い部分を知る事が出来ました。外海町に住んでいた経験があり、改めて外海地区の切支丹の歴史も知りました。本馬先生の講話をまた聞きたいと思います。
- とても有意義な時間をありがとうございました。
- 始めて穴弘法奥の院見学でいろいろお話しを聞きながら、ボーとした頭がシャキッとした感じでよいツアーにさせていただきありがとうございました。



寄稿

黒磯海岸のダルマギク

文・写真／長崎市 平山俊子



玄界国定公園に位置する風光明媚な芥屋周辺（福岡県糸島市）を巡るトレッキングに参加してきました。

標高210mの立石山

に登り、自然遊歩道を歩いて芥屋の大門周辺の黒磯海岸に群生する、希少なダルマギクを鑑賞しました。

ダルマギクは、西日本



▲立石山山頂より。写真中央が芥屋の大門。玄海国定公園は、福岡、佐賀、長崎各県の玄界灘沿岸を中心に指定された国定公園です。

の海岸に生える野菊で福岡県のレッドデータブックに記載されている希少植物。10月から11月頃に黒磯海岸で群生がみられ、岩場の間に淡い紫色の花を咲かせます。草丈が低く、ずんぐりして、"達磨(だるま)"を連想する草姿か



▲黒磯海岸は名前のとおり黒い石(玄武岩)が多く、雨や浪に濡れると一層黒光りしています。

ら"ダルマギク"と名付けられたそうです。岩のすき間の居心地がよいのでしょうか？玄界灘の風雨にさらされて、今にも吹き飛ばされそうなのに、健気に咲いていたやさしい色の花でした。観光協会などに確認のうえ、行かれてみてはいかがでしょうか。

長崎県保険医協会 共済制度 もうすぐ募集開始!

※資料請求や制度に関する質問は協会まで

若い人に有利です! ご子息・ご令嬢にもおすすめください

保険医休業保障共済保険

病気や怪我のとき、安心して療養するために

- ▶ 病気やケガで休業したとき、休業6日目から、1日につき1口、自宅療養6,000円、入院8,000円の給付
- ▶ 給付は最長730日の充実保障
- ▶ 同一病名でも、何度でも給付(通算限度日数の範囲内)
- ▶ 入院はもちろん自宅療養でも給付対象(免責5日)
- ▶ 拠出金は加入時のまま、満期まで変更なし

▶ 他の制度の加入に関係なく給付

受付期間: 4/1~5/25

加入日: 2019年8月1日

加入資格: 59歳6ヵ月以下

*現症のある方、服薬中の方は原則として加入できません

加入時年齢	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～54歳	55～59歳
月額拠出金(1口)	2,500円	2,800円	3,000円	3,300円	3,700円

保険医年金

柔軟な積立設計で無理なく貯める

【積立方法】月 払: 1口1万円(30口まで)
一時払: 1口50万円(1回40口まで)

【受取方法】定額型確定年金(10年・15年)、
逓増型確定年金(15年・20年)、一時金

- ▶ 急な資金需要時には、一時金として1口単位で解約可能
- ▶ 1口単位で払込中断・再開が随時可能
- ▶ 「年金受給開始後の受給額」を過去に削減したことはありません

予定利率 **1.259%**

※2017年度は配当があり、予定利率とあわせて1.356%となりました。

受付期間: 4/1~6/25

加入日: 2019年9月1日

加入資格: 74歳以下

グループ生命保険

死亡・高度障害に備えるー最高保障額5,000万円

▶ 手続きが簡単

医師による診査なしで申込みできます。

▶ お手頃な保険料で大きな保障

最高保障額5,000万円まで加入できます。

例えば38歳男性5,000万円保障で月額6,050円です。

▶ 配偶者・お子さまも加入できます

配偶者は最高1,000万円まで、お子様は400万円に加入できます。

加入資格: 随時

加入日: 加入申込の翌々月1日

加入資格: 70歳6ヵ月以下

毎年の決算で剰余金が生じた場合は配当金としてお支払いします。

◆ 昨年の配当金還元率

年度	配当金還元率	→ 月額保険料の
2017年度	19.73%	約2.3ヵ月分

お知らせ お問い合わせは長崎県保険医協会まで TEL 095-825-3829

第62回例会

長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連遺産

入場無料



講師 **本馬貞夫** 先生

～その歴史的背景と世界遺産としての価値～

講師 **本馬貞夫** 先生 (長崎県長崎学アドバイザー)

日時 2月20日(水) 19:00～20:30

会場 長崎市立図書館 多目的ホール
(長崎市興善町1-1)

● 講師からのメッセージ ●

潜伏キリシタン関連遺産は、どこがスゴ
いのか、少しわかりにくいところがありま
す。潜伏の時代に焦点を当てるわけです
から立証が難しい。一方、世界遺産は不動産
でなければならない。このあたりをご説明

するとともに、苦労して苦労して、辛抱して
作りあげた潜伏キリシタンの集落は「人が
良くなる空間」と感じたこと、また同等の精
神的価値を有する潜伏集落があることを、
お話しさせていただきます。

厚生文化部・菜の花会共催

片岡瑠美子先生と訪ねる 世界遺産の旅・南島原 バスツアー



講師 **片岡瑠美子** 先生

と き: 5月19日(日)

集 合: 長崎駅前(大村ボート行発着所) 8:50集合(解散18:30)

長崎カステラランド(愛野展望台近く・旧愛のベルハウス) 10:00集合(解散17:30)

昼 食: 原城温泉 真砂(南島原市南有馬町丁133 TEL:0957-85-3155)

行 程: 長崎駅→諫早IC→長崎カステラランド→

有馬キリシタン遺産記念館→昼食→原城跡→

日野江城跡→カトリック島原教会→

長崎カステラランド→諫早IC→長崎駅

参加費: 会員・家族 一人5,000円、同伴者一人6,000円

定 員: 40名 先着順(最小催行人数24名)

*会員・家族優先とさせていただきます

締 切: 5月8日(水)

2018年に世界遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である南島原市の「原城跡」、その関連遺産である「日野江城跡」や南島原市におけるキリシタン史を展示した有馬キリシタン遺産記念館などを訪ねます。新緑の季節、禁教の中で育まれた日本独自の信仰のかたちを物語る貴重な遺産をめぐるバスツアーにぜひ、ご参加ください。